

2020年9月24日
日本生命保険相互会社

健康・医療領域のベンチャーファンドへの投資を通じた
インパクト投資の実施について

日本生命保険相互会社（社長：清水博、以下「当社」）は、この度、健康・医療の領域で社会的インパクトの創出を志向する企業に投資するファンドへの投資を決定しました。具体的には、当社子会社であるニッセイアセットマネジメントが運用するファンドを通じ、Grove Street Advisors, LLC（以下「Grove Street 社」）の関連会社が運用する「Life Science Impact Program, L.P.」（以下「当ファンド」）に、約100百万米ドル（約105億円）投資するものです。当ファンドは健康・医療領域の複数の優良ベンチャーファンドに投資し、経済的リターンの獲得と同時に、社会的インパクトを創出、計測し、SDGs 達成への貢献を企図するファンドです。

当ファンドの実質的運用者である Grove Street 社は、未公開株式ファンドへの投資を専門に行う運用会社です。特に健康・医療領域のベンチャーファンドへの投資を強みとしており、長期にわたる良好なトラックレコードを有しています。

なお、当ファンドの投資対象は、世界の人々のクオリティ・オブ・ライフ向上や健康長寿の実現を目指す創薬、医療機器開発といった領域を中心にしており、新型コロナウイルス感染症拡大下で抗体研究や早期のワクチン開発への取り組みを通じ、喫緊の社会課題の解決に資するインパクト創出を志向する企業も含まれます。

当社は、環境や地域・社会と共生し、経済・企業と安定的な成長を共有していく観点から、環境問題の解決や社会貢献に資する ESG 投融資を積極的に推進しており、SDGs の達成に貢献するインパクト投資もその一つと位置付けています。当ファンドへの投資を通じ、Grove Street 社と協働して医療領域でのインパクト計測にかかる知見を蓄積し、当社のインパクト投資の拡大・発展に活用してまいります。

今後も、社会公共性・投資採算性をふまえ、ESG 投融資を推進することで、ご契約者利益の一層の拡大に努めるとともに、持続可能な社会の形成に寄与してまいります。

<当ファンドの概要>

名称	Life Science Impact Program, L.P.
運用者	GSA Partners LSIP, LLC
投資対象	SDGs 目標3「すべての人に健康と福祉を」の達成への貢献が期待される、未公開企業の株式を投資対象とする複数の健康・医療領域のベンチャーファンド
投資地域	グローバル
当社投資額	100 百万米ドル (約 105 億円)

<今回の案件と関係の深い SDGs 目標>

目標3：すべての人に健康と福祉を

あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する



以 上